



広報

# 慈光

第103号

令和2年7月



## 編集・発行

社会福祉法人 長井福祉会

特別養護老人ホーム慈光園

慈光園デイサービスセンター

慈光園中央デイサービスセンター

在宅介護支援センター慈光園

ケアハウス ウェルフェア慈光園

発行責任者 皆川善典

山形県長井市小出3453番地

TEL 0238(88)2711

FAX 0238(88)2712

ホームページアドレス

<http://nagai-jikouen.jp/>

印刷 (株)サンノー企画印刷





## 「新型コロナウイルス感染症」について

理事長 豊野 充

中国、武漢に発した「新型コロナウイルス」は瞬く間に全世界に広がり、特にアメリカやヨーロッパで猛威を奮いました。世界の感染者は700万人、死者は40万人を超え、国内では感染者1万7000人、死者は900人を超えました。山形県内では感染者69人に留まりました。感染経路は、飛沫感染が主体で、接触感染や、換気の悪い環境では咳やくしゃみが無くても感染します。潜伏期は1〜14日、平均5日程度です。発症から1週間程度で重症化します。一般に冬季に流行します。

症状としては、発熱、そして呼吸器症状（咳、咽頭痛、鼻汁、鼻閉）、頭痛、倦怠感です。初期症状はインフルエンザや感冒に似ており、嗅覚障害・味覚障害を訴える患者も多くみられます。重症化のリスク因子として、①基礎疾患別の致死率は、心血管疾患10%、糖尿病7.3%、慢性呼吸器疾患6.3%、高血圧症6%、悪性腫瘍5.6%、持病なしは0.9%です。また喫煙歴も関係します。②年齢別致死率は、40歳代以下1%未満、50歳代1.3%、60歳代3.6%、70歳代8%、80歳代14.8%と高齢者ほど危険です。血液検査では白血球増加、リンパ球減少が見られます。画像では胸部単純写真よりCT検査が有効です。発熱（37.5度以上）あり、呼

吸器症状もあり、重篤な肺炎が疑われるときにPCR検査が実施されます。また合併症として血管炎から血栓ができ、脳梗塞や心筋梗塞の原因になるといわれます。

重症者にはICUで人工呼吸（気管内挿管）が行われます。さらに重症になると人工心肺装置であるECMOを使用することもあります。抗ウイルス薬はアビガンなどいろいろ試されていますが特効薬は確定されていません。またワクチン開発も急ピッチで進んでいます。今秋に間に合うかどうかです。最近では感染歴を調べる抗体検査も行われています。当分は感染防止に徹することが重要かと思えます。即ち汚染された環境への接触を避ける、くしゃみや喀痰等飛沫が結膜や呼吸器粘膜に入らないようにすることです。そのために3密（密閉、密接、密集）を避ける、不要・不急の外出を避ける、手洗い、消毒の励行、換気をする、マスクの活用等です。現在収束しつつありますが、今秋には必ず第2波が来ます。皆さんの努力と工夫でこの難局を乗り切りましょう。

（参考文献：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き、第1版・第2版、2020年、厚生労働省）



### 令和元年度 社会福祉法人長井福社会決算状況

#### 資金収支計算書

(自)平成31年4月1日 (至)令和2年3月31日  
(単位：円)

事業活動収入	1,110,254,715
事業活動支出	947,787,061
事業活動資金収支差額	162,467,654
施設整備等収入	693,065
施設整備等支出	48,806,127
施設整備等資金収支差額	△ 48,113,062
その他の活動収入	9,726,409
その他の活動支出	49,837,501
その他の活動資金収支差額	△ 40,111,092
予備費	0
当期資金収支差額合計	74,243,500
前期末支払資金残高	668,842,593
当期末支払資金残高	743,086,093

#### 事業活動計算書

(自)平成31年4月1日 (至)令和2年3月31日  
(単位：円)

サービス活動収益	1,098,704,861
サービス活動費用	1,024,435,713
サービス活動増減差額	74,269,148
サービス活動外収益	12,707,067
サービス活動外費用	6,667,452
サービス活動外増減差額	6,039,615
経常増減差額	80,308,763
特別収益	518,143
特別費用	24
特別増減差額	518,119
当期活動増減差額	80,826,882
前期繰越活動増減差額	1,528,790,190
当期末繰越活動増減差額	1,609,617,072
その他の積立金積立額	30,000,000
次期繰越活動増減差額	1,579,617,072

#### 貸借対照表

令和2年3月31日現在 (単位：円)

流動資産	772,523,326	流動負債	92,617,918
		固定負債	348,889,649
		負債の部合計	441,507,567
		基本金	37,937,000
固定資産	2,353,038,211	国庫補助金等特別積立	435,699,898
		その他の積立金	630,800,000
		次期繰越活動増減差額	1,579,617,072
		純資産の部合計	2,684,053,970
資産の部合計	3,125,561,537	負債および純資産の部合計	3,125,561,537

※詳細はホームページまたは長井福社会事務所において閲覧等の方法により開示します。

### 令和2年度 慈光園開園記念式典



### 令和2年度開園記念式典

令和2年6月18日(木)、本年度開園記念式典を行いました。はじめに理事長からこれからも社会福祉法人として公益性の高い経営と福祉人材の育成に注力する決意等が述べられました。

次に永年勤続者と職員研究発表の表彰が行われました。永年勤続者は勤続35年2名、30年1名、20年6名、15年5名、10年7名と21名もの職員が表彰されました。職員研究発表では業務の安全性向上、利用者満足度やサービス向上の業務分析や改善研究に取り組んだデイサービスセンター、調理課、在宅介護支援センターの3部署が表彰されました。

最小人数でマスク着用、換気と空間除菌を行い、お互い一定距離を保つなど、感染症予防対策を講じて短時間での式典でしたが、心地よい緊張感のなか、この日をまた新たな出発点として、地域福祉向上に取り組み決意を強くする式典となりました。





施設で  
「観桜会」



できないけれど



施設で  
「あやめ観賞」







施設のなかでも  
「活動的」に

なかなか「外出」



実際に  
会いたがったなあ

## オンライン面会

画面越しに娘の顔があって何か  
しゃべってびっくりしたけどやっ  
ぱり顔見れてうれしかったな  
(松木とき様)

新型コロナウイルスの影響により、感染拡大防止の為に、4月9日から当施設でも面会中止となりました。そこでオンラインでの面会を実施、感想をいただきました。  
(面会は一時的に解除いたしましたでしたが、再び中止となりました。フェイスブックやホームページを通じて面会の再開時期や施設の様子などをお知らせして参ります。引き続きご理解ご協力をお願いします。なお、オンライン面会は可能です。お気軽にご相談ください。)



近年、介護施設送迎等による事故が、テレビや新聞で報道されることが多くなりました。同じ施設職員として身近に思い恐怖を感じました。そのことから、絶対事故を起こさないために、日々の運転業務・添乗について問題がないか振り返る必要があると考え研究発表のテーマにしました。アンケート調査を行い利用者・職員の意見や不安をまとめ、その結果から事故を起こさないための安全対策についての取り組みを実践したところ、運転手・添乗員の交通安全意識向上に繋げることができたようです。これからもご利用者が安心して利用できるように、交通安全を意識して運転等できる仕組みや環境を整え継続して取り組んでいかなければならないと実感しました。

令和2年度職員研究発表  
**最優秀賞**

安全に送迎するために

慈光園デイサービスセンター

むせを防ぐためにトロミは効果的ですが、トロミの状態は数値化しにくく感覚で判断していることもあり、作る側でバラつきがある状態でした。このバラつきをなくしたい、そんな思いから今回は「トロミ」をテーマに取り組みました。トロミの状態(粘度)は、水分量や成分また温度や時間で変化が起こります。献立(食材や調理法)によつて加える水分やトロミ剤の量を変える必要があります、目安になる分量表を作成するためにさらにも多くのデータを集める必要があると感じました。

今回の研究で得たトロミについての知識を活かし、安全に美味しく食べただけの食事作りに努めたいと思います。

令和2年度職員研究発表  
**優秀賞**

とろみ  
とろめば  
とろまるとき

～よりよいミキサー食の提供をめざして～

特養 調理課

今回支援センターでは、「質の高い事業所を目指して」というテーマで研究に取り組みました。支援センターはケアマネ業務が主となりますが、ケアマネひとりひとりの質が利用者の生活の質、事業所・法人全体の評価にも繋がるため、個人差をできるだけなくしたいという動機からの取り組みでした。「質の高い事業所」を目指すには、全職員が共通した認識を持つことが必要となりますが、研究を行う中で、業務上の課題や疑問についての検討機会、また、業務の振り返りを行う機会ともなり、職員の目的意識を高めることができたのではないかと思います。

今後現状に満足することなく、地域の皆様から「慈光園イイネ」と言っていたけりような事業所を目指していきたいと思ひます。

令和2年度職員研究発表  
**佳作**

「慈光園イイネ！」

～より質の高い支援事業所を目指して～

在宅介護支援センター

**編集後記**

「新型コロナウイルス」の影響により「緊急事態宣言」が発令され、行動に多くの制限がかかる等、先の見えない不安な日々が続きました。

当施設でも、ご家族様のご協力のもと、当面の面会を中止する等の対応をとらせて頂きました。

本号では、外出を制限される中でも明るく楽しみをモットーに、園での過ごし方を充実させる為、レク活動・花見気分(園庭・園内)に力を入れ取り組んで参りました。

ご利用者様の素敵な笑顔をご覧になっていたければ幸いです。

今後先の見えない状況は変わりませぬ。ご利用者様の健康を第に邁進して参ります。

引き続き、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

**広報委員**

- ◎青木千賀子 梅津 智之
- 橋本 恵 ○八木 珠美
- 梅津 千秋 佐藤 拓
- 土屋 睦美 佐藤 亨
- 山口 綾香 佐藤 幸子